

平成20年度 「桃太郎フォーラムX」プログラム

| | |
|---------|---------------------------|
| テーマ | 「受けたい授業を創る：教授法改善のヒント」 |
| 日時 | 平成20年9月12日（金） |
| 会場 | 創立五十周年記念館（午前）・一般教育棟D棟（午後） |
| 参加予定人数 | 約150名 |
| 主催 | 教育開発センター |
| 企画・実施組織 | FD委員会 |

【プログラム】

午前の部

会場：創立五十周年記念館

総合司会：FD委員会教授法開発WG座長 中塚幹也（保健学研究科）

1. 開会宣言：教育開発センター長 柴田次夫（自然科学研究科(理学系)） 9:30～9:35
2. 副学長挨拶：岡山大学副学長 佐藤豊信 9:35～9:45
3. 特別講演1（司会：FD委員会委員 天野憲樹 教育開発センター） 9:45～11:00
講師：北海道大学大学院理学研究院 鈴木久男
演題：「授業応答システム”クリッカー”による能動的学習授業-簡単に実現する双方向性授業」
4. 特別講演2（司会：FD委員会委員長 佐々木健二 医歯薬学総合研究科（薬学系））11:00～11:50
講師：岡山大学教育開発センター 橋本 勝
演題：「橋本メソッドと学生の主体的学び ～150人ゼミの有効性～」
5. 各分科会の紹介：FD委員会教授法開発WG座長 中塚幹也（保健学研究科） 11:50～12:00

<昼休憩>12:00～13:20（創立五十周年記念館から一般教育棟D棟へ移動）

午後の部

会場：一般教育棟D棟2階

分科会 13:20～15:30

各会場で分科会の趣旨説明と内容紹介（司会：各座長）（13:20～13:30）

① 第1分科会：大規模授業における双方向性確保の工夫 会場：D217

座長：長谷川芳典（社会文化科学研究科（文学系））

話題提供者：鈴木久男（北海道大学大学院理学研究院）

「クリッカーはあなたの授業に使えるのか？-クリッカーの導入法を考えてみよう」

橋本 勝（教育開発センター）

「橋本メソッドの応用可能性を探る ～午前の講演を受けて～」

山口晴久（IT活用教育委員会委員長 教育学研究科）

「岡山大学 e-Learning システムを活用する方法」

担当委員：FD委員会教授法開発WG 京 健治（社会文化科学研究科（文学系））

② 第2分科会：学生の授業時間外学習への支援 会場：D216

座長：田近 肇（FD委員会教授法開発WG，社会文化科学研究科（法学系））

話題提供者：桑原敏典（FD委員会勉学環境WG座長 教育学研究科）

「授業時間外学習の実態と指導のあり方-アンケート調査の結果をふまえて-」

大元利彦（附属図書館 学術情報部学術情報サービス課長）

「授業時間外に図書館でできること」（仮）

山西敏博（教育開発センターIT活用教育委員会委員，外国語教育センター）

「e-ラーニングによる授業時間外学習」

劔持 淑 (外国語教育センター)

「英語の自学自習用ソフトの使用状況」

担当委員：FD委員会教授法開発WG 田近 肇 (社会文化科学研究科 (法学系))

③ **第3分科会：大学院はいま何を求められているか？** (FD委員会大学院WG) 会場：D215

座 長：久保田 聡 (FD委員会大学院WG 医歯薬学総合研究科 (歯学系))

話題提供者：竹居孝二 (元大学院教育専門委員会委員 医歯薬学総合研究科 (医学系))

「岡山大学大学院教育の問題点 (平成17年度調査より)」

井上 昭 (FD委員会授業評価アンケートWG座長 自然科学研究科 (工学系))

「大学院生は工学系大学院教育に何を求めているか」

二宮善文 (元大学院教育専門委員会委員 医歯薬学総合研究科 (医学系))

「大学院生の授業評価アンケート」(仮)

多屋頼典 (FD委員会大学院WG座長 社会文化科学研究科 (文学系))

「大学院は何を求められているか？大学院授業評価アンケートの作成に向けて」(仮)

担当委員：FD委員会教授法開発WG 越智浩二 (医歯薬学総合研究科 (医学系))

田口雅弘 (社会文化科学研究科 (経済学系))

④ **第4分科会：学生のメンタルケアを考えるーメンタルケアの多方向性ー** 会場：D214

(参加者は大学教職員のみです.)

座 長：大西 勝 (保健管理センター)

話題提供者：景山哲臣 (環境理工学部キャリアサポート室 環境理工学部特命教授)

「環境理工学部におけるキャリアサポートの紹介とメンタルケア」

辻 博明 (法務研究科)

「法科大学院におけるメンタルケア」

西堀正洋 (医歯薬学総合研究科 (医学系))

「担任学生と長い付き合いになったケース」

清水幸登 (保健管理センター)

「メンタルヘルスケアの多方向性ー共有しておく方が良いと思われることについてー」

コメンテーター：

仁科舞子 (保健管理センター)

兒山志保美 (保健管理センター)

担当委員：FD委員会教授法開発WG 三浦 健志 (環境学研究科)

⑤ **第5分科会：学生発案型授業について考える** (学生・教職員教育改善委員会) 会場：D212

座 長：天野憲樹 (教育開発センター)

話題提供者：田中秀治 (文学部3年)・大村優子 (文学部2年)

「創作活動、受講を通じて考える学生発案型授業の意義」

加来田博貴 (医歯薬学総合研究科 (薬学系))

「行動型講義「This is Okayama ver. Special」を担当して」

三枝誠行 (自然科学研究科 (理学系))

「学生発案型授業の意義と教育効果」

矢野正昭 (教育開発センター)

「学生発案型授業からサービスラーニングへ」

古賀隆治 (自然科学研究科 (工学系))

「ドラえもんの科学：面白いことが重要」

担当委員：FD委員会委員, 学生・教職員教育改善委員 天野憲樹 (教育開発センター)